



## 「わとくのサンルームから」

兵庫県立和田山特別支援学校

校長 野口 照正

←本校ブログページのQRコードです。

### 1 戦後の罹災も大震災の被災も…

私が学生時代に大変お世話になったゼミの先生が、ご自身の著書で「太平洋戦争による罹災も、阪神淡路大震災による被災も、共に『人災』である。最も過酷な状況を強いられるのが『社会的弱者』であることは、半世紀後でも変わっていない」と述べられました。戦争と地震とでは、そもそも発生要因は違いますが、私たちが目の当たりにする現実、共通する側面が多いですね。

阪神淡路大震災の発生日（1995年）は、「ボランティア元年」ともいわれます。あの震災を「人災」と捉えるならば、その災いを取り除くことができるのも同じ「人」です。「インクルーシブ社会」の構築が求められる昨今、私たち「チームわとく」の一人ひとりにできる小さな取り組み（日々の教育実践）がその社会実現に向けて貢献できるように、これからも本校職員が一丸となって、取り組んで参ります。

伝教大師・最澄の有名な言葉を思い出しました、「一隅を照らす、此れ即ち国宝なり」。

### 2 2学期後半を振り返って

\*学校ブログに掲載されていないトピックスをお伝えします。

#### （1）全国障害者スポーツ大会SAGA（10月26日～27日）



見事に銀メダルを獲得しました！  
応援に行った甲斐がありました(^\_^)v

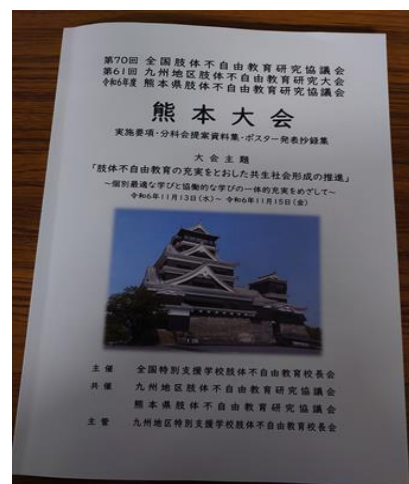
## (2) 特別支援教育フォーラム【県教委主催】(11月4日)



豊岡市にある芸術文化観光専門職大学を会場に、特別支援教育への理解促進や普及を目的とした、初めてのフォーラムが開催されました。

本校からは高等部の生徒が自身の将来の進路選択について、しっかりと発表が出来ました！  
「わとくカフェ」も大好評でした！

## (3) 全肢研熊本大会(11月13日～15日)



本校の進路指導部長が、「キャリア教育及び進路指導」の部門で、『外部との連携から見いだせること』のタイトルで実践発表を行いました。

私も同時に実施された全国校長会で、文部科学省から指定を受けている「高校DX加速化推進事業」の取り組みを発表しました。



#### (4) 今年度の部活動（10月13日～1月15日）



今年度も週1回ペースで、合計13回実施しました。球技、eスポーツ、ボッチャなどのパラスポーツ、文化活動など、有志の生徒たちで楽しく取り組みました。

#### (5) イオン社会福祉基金様からのクリスマスプレゼント寄贈（12月12日）



今年も「マックスバリュ養父店」のご厚意で、児童・生徒全員にクリスマスプレゼントをいただきました(^\_^)v みんな大喜びでした！

#### (6) 藤原教育長様への表敬訪問（12月26日）



兵庫県選手団の一員として参加した高等部生徒が、全国障害者スポーツ大会SAGAで銀メダルを獲得できたご報告をしました。

藤原教育長様から、学校生活や寄宿舍生活の様子を聞いていただき、温かい励ましのお言葉までいただきました。県教委特別支援教育課の天野課長様の同席も賜り、とても素晴らしい機会となりました。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。